

◆好調カテゴリ別 金額市場規模前年比一覧

主食		
新型コロナウイルスの影響により、ほぼすべてのカテゴリで前年を上回った。菓ごもり需要が本格化してきたことにより、昼食をはじめ内食化が進んだことで「主食」のニーズが高まった。「米、米飯類」：先月に続き前年の2割増。ベーシックなもの強い。「麺類」：ごはん以外の主食ニーズの高さが窺える。「小麦粉、プレミックス」：メニューを増やしたり、子供と一緒に手作りできる点でも需要が高まる。		
カテゴリ	金額前年比 2020年3月	前月差 2020年3月
主食 TOTAL	112.1	1.4
米	123.4	2.6
米飯類	127.0	6.1
食パン	103.7	-0.9
菓子パン・調理パン		
シリアル類	132.7	8.4
袋インスタント麺	145.9	29.1
カップインスタント麺	112.6	1.1
乾麺	166.5	32.1
生麺・ゆで麺	115.0	5.9
スパゲティ	166.9	36.6
マカロニ類	131.3	9.5
小麦粉	135.9	20.2
てんぷら粉	112.9	4.2
唐揚げ粉	112.5	5.1
パン粉	111.4	6.0
プレミックス	146.8	31.6

調味料		
主食同様、新型コロナウイルスの影響による菓ごもりで内食化が進み、明らかに調理をするシーンが増加してきたことが窺える。これは、素材系の食材カテゴリ(冷凍水産、農産)の需要増からも推察できる。また、日持ちするメニューとしての煮物需要も窺え、和風基礎調味料に加え、本みりん、(つゆ)煮物料理の素などの伸びも見られる。主食に連動した例としては、乾麺には「つゆ(煮物料理の素)」。		
粉もの(小麦粉、プレミックス)では、家庭内での菓子やケーキ、パン作り用の「エッセンス類」、お好み焼きに「ソース」、「マヨネーズ」、ホットケーキなどに「シロップ類」「蜂蜜」などの需要も上がっている。(蜂蜜、バターはTVで免疫力アップの食材と紹介された影響も)		
カテゴリ	金額前年比 2020年3月	前月差 2020年3月
調味料 TOTAL	111.5	5.5
醤油	111.2	0.8
味噌	104.2	6.9
食塩	110.2	-4.9
料理酒	111.1	7.5
砂糖	104.8	5.9
低カロリー甘味料	106.8	-2.0
シロップ類	135.4	24.3
蜂蜜	166.0	57.8
ソース	118.6	6.8
ケチャップ	121.7	14.3
マヨネーズ	110.0	-2.9
ドレッシング	104.8	3.9
香辛料	119.0	6.5
エッセンス類	125.8	23.0
焼肉しゃぶしゃぶのタレ	110.8	0.0
食酢	100.1	6.8
ほん酢	107.4	5.4
本みりん	108.1	4.8
みりん風調味料	102.1	-1.0
風味調味料	107.8	0.9
削り節	104.8	3.5
煮干し		
わかめ・こんぶ類	113.8	3.5
つゆ・煮物料理の素	114.9	3.7
サラダ油・天ぷら油	109.1	5.9
ゴマ油	124.5	8.9
バター	133.6	22.6
マーガリン類	103.3	0.0
チーズ	108.8	7.0
ジャム・ママレード	104.2	0.7

※網掛け
前年比 105%超:

加工食品①		
新型コロナウイルスの影響により、ほぼすべてのカテゴリで前年を上回り、前月から更に加速した。特に、主食の「米」「米飯類」の需要増によって、ご飯のお供やその他の調理に使用する「○○の素」が大きく伸長。連動して汁物にも好影響が見られた。また、「スパゲティ」の異様な需要増で「パスタソース」も大きく伸長。「冷凍調理」でもスパゲティ&ソースが伸長し、菓ごもりが本格化して以降「スパゲティ」需要の高さが窺われた。他にも「うどん、餃子、チャーハン、から揚げ」などが伸長。素材系の「冷凍水産、農産」また「調理用スープ」はこれまでに以上に需要が高まり、菓ごもり⇒内食化の実態が鮮明になった。		
カテゴリ	金額前年比 2020年3月	前月差 2020年3月
加工食品① TOTAL	121.6	8.1
春雨・くず切り	111.9	5.7
こうや豆腐		
海苔	108.4	0.6
ふりかけ	109.4	0.2
お茶漬の素	124.1	3.8
まぜご飯の素	123.5	7.9
カレー	125.9	8.4
シチュー	114.8	11.0
パスタソース	159.5	32.4
シチューベース	118.2	16.1
メニュー専用料理の素	111.7	5.3
スープ類	111.4	6.8
味噌汁・吸物類	108.5	-0.3
調理用スープ	121.2	5.5
冷凍水産	137.7	14.0
冷凍農産	133.0	14.4
冷凍調理	126.0	8.1

加工食品②		
新型コロナウイルスの影響大。ほぼすべてのカテゴリで2桁増。「魚介缶詰」：サバ缶が前年並みに復活するも、ツナ缶の逆襲が顕著で3割増の増加。サラダ用の需要が増したか? 「フルーツ缶詰」：菓ごもりのおやつ需要か? 「畜肉缶詰」：コンビーフの特需はやや収束してきた半面、ランチョンミート、スパムが好調。おにぎりや簡単な炒め物としての需要が増。「パウチ入り食材」：スイートコーン、タケノコが好調で3割強の増加。更に規模は小さいながらもカットトマトは1.5倍と、大豆系の不振をカバー。		
カテゴリ	金額前年比 2020年3月	前月差 2020年3月
加工食品② TOTAL	112.2	4.1
魚介類缶詰	114.5	20.1
野菜缶詰	126.0	17.1
フルーツ缶詰	126.8	11.9
畜肉缶詰	151.1	14.1
パウチ入り食材	114.1	14.1
和風食品	109.8	0.2
洋風食品	113.8	2.4
中華風食品	111.6	5.6
畜肉ハム	108.0	0.8
畜肉ソーセージ	108.7	-1.8
魚肉ソーセージ	110.7	3.2
焼豚	111.5	6.2
ベーコン	115.3	3.7

加工食品③		
練り物をはじめ、和風のおかず系も前年を上回った。ごはん需要の影響か? 「かまぼこ」：かに足かまぼこは確実に復調し全体を牽引。「納豆」：デマ騒動もあったが、ごはん需要につられてアップか。「もずく・めかぶ」：めかぶは2割増と好調さが持続。		
カテゴリ	金額前年比 2020年3月	前月差 2020年3月
加工食品③ TOTAL	108.5	1.8
かまぼこ	105.3	0.0
ちくわ	108.9	4.2
はんぺん	105.7	2.6
揚げ物	105.5	3.0
納豆	112.7	-0.7
煮豆		
佃煮	105.9	0.4
もずく・めかぶ	111.3	2.4
豆腐類	109.3	3.0

菓子		
他のカテゴリと異なり、コチラは前月の勢いは影を潜めた。粉もので手作りのおやつに押されている可能性もあり。「スナック」：ポテトチップスをはじめ、新商品が好調。「煎餅・あられ」：既存商品が好調で全体を牽引。「玩具メーカー菓子」：大ヒットマンガの新商品が絶好調。他にも新商品が目白押しで活性化。「栄養バランス食品」：売れ筋は変わらず一本食べきりのパータイプで、プロテイン成分配合の商品。		
カテゴリ	金額前年比 2020年3月	前月差 2020年3月
菓子 TOTAL	101.3	-3.5
チョコレート		
キャラメル		
キャンディ		
チューインガム		
ビスケット&クラッカー	104.6	-2.3
スナック	107.1	-0.4
煎餅・あられ	105.8	-2.0
玩具メーカー菓子	117.3	-20.2
栄養バランス食品	105.9	-13.6

嗜好品		
菓ごもりの影響が見られたが、全体的な勢いは弱まる。「アイスクリーム」「デザート類」：子供のおやつ需要か!? 「ホイップクリーム」：手作り菓子需要の恩恵か。「コーヒー」：在宅勤務による需要増。		
カテゴリ	金額前年比 2020年3月	前月差 2020年3月
嗜好品 TOTAL	104.8	-1.8
アイスクリーム	107.0	-1.6
デザート類	103.0	0.7
ペビーフード		
インスタントクリーム		
フレッシュクリーム		
ホイップクリーム	129.6	24.0
インスタントコーヒー	102.8	-1.6
レギュラーコーヒー	110.1	-0.6
紅茶	105.1	12.9
ココア	102.4	0.5
日本茶	104.6	1.0
麦茶	105.3	-6.9
中国茶		

飲料		
菓ごもりの影響が見られたものの、前月の勢いは影を潜めた。「牛乳、野菜系ジュース」：子供のおやつ需要に加え、野菜補給のための大人需要も。「ヨーグルト、乳酸菌飲料、豆乳」：菓ごもりのストレス対策としての腸活・菌活を促す健康意識の表れか!?大幅増。「サイダー」：トップメーカーが2桁増で、他の主要メーカーが振るわない停滞気味の市場を牽引。トップの大型新商品も好調さ維持。「紅茶ドリンク」：フームが巡った感が強く、参入して牽引してきた商品にも陰りが。主カメーカーでも前年を割るころもあり、過熱した市場は沈静化していくのか? 次月以降注目。「ミネラルウォーター類」：異常な2月からは平常に戻りつつある。それでも炭酸水は115%、ミネラルウォーターも110%と2桁増を維持。		
カテゴリ	金額前年比 2020年3月	前月差 2020年3月
飲料 TOTAL	102.5	-6.0
牛乳	109.8	-1.5
ヨーグルト	108.3	0.1
乳酸菌飲料	110.2	0.4
豆乳	108.7	-5.0
100%ジュース		
果汁飲料		
トマトジュース	104.2	-9.8
野菜ジュース	104.1	-0.7
コーラ	105.2	-4.3
サイダー	110.5	-5.3
炭酸飲料	100.9	-5.6
コーヒードリンク		
紅茶ドリンク	102.1	-15.8
液体茶		
スポーツドリンク		
美容・健康ドリンク		
栄養ドリンク	101.7	-8.1
ミネラルウォーター類	111.3	-10.8
乳酸飲料		

アルコール		
前月の反動か、僅かに前年を下回った。「ウイスキー」：好調さを維持。家飲み需要を反映してか、ハイボールが2桁増した中、ボトルも前年を上回った。		
カテゴリ	金額前年比 2020年3月	前月差 2020年3月
アルコール TOTAL	99.0	-4.4
ビール		
ウイスキー	107.5	-1.5
ワイン		
日本酒		
焼酎		

日用雑貨		
新型コロナウイルスの影響による先月の異常な動きは、少々沈静化した感がある。それでも例年とは全く異なる動きは続いており、先月買いそびれた商品を漸く入手できたといった状況か、相変わらず前年を大きく上回るカテゴリが多かった。特に「除菌、抗菌」が訴求されている「漂白剤、芳香・消臭剤、ぬれティッシュ」の需要は、増税前を上回る勢いに陰りは見えない。また家庭内を清潔(消毒)に保とうとする意識からか、「住居用クリーナー、使い捨て紙クリーナー」をはじめとする各種クリーナーの需要も高まった。これに伴い、「家庭用手袋」の需要は急増。これも菓ごもり効果の一端と言えそう。「ペーパータオル」はマスク不足の中、布製マスクのガーゼの間にペーパータオルを入れることで効果があると報道が効いた可能性があると考えられる。		
カテゴリ	金額前年比 2020年3月	前月差 2020年3月
日用雑貨 TOTAL	115.1	-20.9
歯ブラシ		
歯磨き	103.0	-8.8
マウスウォッシュ		
義歯用剤		
洗濯用洗剤	101.1	-10.9
中性洗剤		
漂白剤	122.7	-8.2
柔軟剤		
台所用洗剤	116.3	-5.7
住居用クリーナー	146.0	-26.1
トイレ用クリーナー	115.0	-10.6
バスクリナー	111.9	-6.4
パイプクリナー	108.6	-7.2
家庭用手袋	153.5	-17.8
化学雑巾	117.1	-3.6
たわし・スポンジ	108.8	-4.4
水切り袋	114.1	-3.5
殺虫剤	115.6	-12.2
防虫剤		
カビ防止剤	117.1	-13.1
芳香・消臭剤	145.8	-17.3
トイレタング用洗浄芳香剤	100.9	-7.3
除湿剤	106.5	-12.3
ラッピングフィルム	113.2	-3.1
アルミホイル	117.4	3.7
食品包装用品	127.8	5.6
アルミガスマット	109.4	0.0
ティッシュペーパー	119.6	-49.3
トイレットペーパー	145.8	-19.6
ペーパータオル	154.5	-14.3
ぬれティッシュ	178.5	-143.2
使い捨て紙クリーナー	138.2	-14.0
紙おむつ		
大人紙おむつ	106.3	-14.2
生理用品	119.5	-31.6
絆創膏	102.6	-11.1
使い捨てカイロ		
綿棒	112.2	-14.2

化粧品		
化粧品は、菓ごもり=不要不急の外出自粛の影響をまともに受けた。先月の基礎化粧品のストック購入もあって、洗顔クリーム以外すべてで前年割れ。特にメイクアップ化粧品は直撃を浴びて前年の9割に満たないものばかりとなった。		
カテゴリ	金額前年比 2020年3月	前月差 2020年3月
化粧品 TOTAL	84.2	-17.1
クレンジング		
洗顔クリーム	101.2	-9.1
化粧水		
乳液		
栄養クリーム		
パック		
美容液		
化粧下地		
ファンデーション		
おしろい		
口紅		
眉目料		
マニキュア		

医薬品		
医薬品も、新型コロナウイルスの影響による先月の異様な動きの反動が窺えた。対策用品の「マスク」は、2月の驚異的な需要によって多くの店頭から商品が消えるといった事態が発生し、その後も欠品状況が続いたことから大きく前年を下回った。また新型コロナウイルスへの感染を恐れて、病院やクリニックには行かず、市販薬で「風邪などの対策」をしようとした「漢方薬、総合感冒薬、鎮咳去痰剤」などは先月の反動が明確となって表れた。「口腔用薬」：先月の反動はあったものの2桁増。特にのどの殺菌、消毒を訴求するスプレーなどが売上を伸ばして牽引。「皮膚用薬」：主役は手指消毒剤で、先月の反動から品不足も窺えたものの、前年の約8倍と需要の高さは相変わらず続いている。		
カテゴリ	金額前年比 2020年3月	前月差 2020年3月
医薬品 TOTAL	87.7	-32.0
コンタクト用剤		
マスク		
ミドリシク剤		
漢方薬	106.8	-7.3
総合感冒薬	100.1	-26.8
鼻炎治療剤		
解熱鎮痛剤	101.8	-8.2
鎮咳去痰剤		
口腔用薬	112.2	-26.6
胃腸薬		
整腸薬		
外用鎮痛消炎剤		
皮膚用薬	120.3	-13.0
目薬		
健康食品		

ペット		
新型コロナウイルスの影響は、前月の反動から沈静化した感。「ペット用品」：特に防臭シートやウェットティッシュが伸長。紙類品薄のデマの影響が尾を引いているのかも。		
カテゴリ	金額前年比 2020年3月	前月差 2020年3月
ペットカテゴリ TOTAL	100.6	-7.7
ドッグフード		
キャットフード	100.8	-6.4
ペット用品	105.4	-10.7

石鹸・ヘアケア		
新型コロナウイルスの影響による先月の異常な動きは、「日用雑貨」同様沈静化が窺えた。「石鹸」：もちろん入念な手洗いのための需要。液体タイプは前年の2倍強。また規模は小さいながらも、手指の清潔を訴求する商品は前年の195倍の伸長。「入浴剤」：は僅かに前年を上回るも、その他のヘアケア商品は前月の反動から前年割れ。「入浴剤」：子供向け玩具入り商材が好調。		
カテゴリ	金額前年比 2020年3月	前月差 2020年3月
石鹸・ヘアケア TOTAL	105.8	-9.3
石鹸	145.0	-13.6
入浴剤	104.8	-3.1
シャンプー	100.3	-7.0
ヘアトリートメント	101.4	-6.4
アウトバスヘアケア		
ヘアカー		
育毛トニック		
制汗剤		

化粧品		
化粧品は、菓ごもり=不要不急の外出自粛の影響をまともに受けた。先月の基礎化粧品のストック購入もあって、洗顔クリーム以外すべてで前年割れ。特にメイクアップ化粧品は直撃を浴びて前年の9割に満たないものばかりとなった。		
カテゴリ	金額前年比 2020年3月	前月差 2020年3月
化粧品 TOTAL	84.2	-17.1
クレンジング		
洗顔クリーム	101.2	-9.1
化粧水		
乳液		
栄養クリーム		
パック		
美容液		
化粧下地		
ファンデーション		
おしろい		
口紅		
眉目料		
マニキュア		

医薬品		
医薬品も、新型コロナウイルスの影響による先月の異様な動きの反動が窺えた。対策用品の「マスク」は、2月の驚異的な需要によって多くの店頭から商品が消えるといった事態が発生し、その後も欠品状況が続いたことから大きく前年を下回った。また新型コロナウイルスへの感染を恐れて、病院やクリニックには行かず、市販薬で「風邪などの対策」をしようとした「漢方薬、総合感冒薬、鎮咳去痰剤」などは先月の反動が明確となって表れた。「口腔用薬」：先月の反動はあったものの2桁増。特にのどの殺菌、消毒を訴求するスプレーなどが売上を伸ばして牽引。「皮膚用薬」：主役は手指消毒剤で、先月の反動から品不足も窺えたものの、前年の約8倍と需要の高さは相変わらず続いている。		
カテゴリ	金額前年比 2020年3月	前月差 2020年3月
医薬品 TOTAL	87.7	-32.0
コンタクト用剤		
マスク		
ミドリシク剤		
漢方薬	106.8	-7.3
総合感冒薬	100.1	-26.8
鼻炎治療剤		